

ふじのみや スポ協だより

第 29 号

発行
富士宮市スポーツ協会
〒418-0007 富士宮市外神東町115
市民体育館内 ☎0544-58-7799
発行人:渡邊徳一 印刷:フジ印刷(有)

★第47回 富士宮市民スポーツ祭 総合開会式★

スポーツを通して市民の健康の保持・増進や体力の向上、並びに地域や仲間づくりを図るため「市民ひとり1スポーツ」をスローガンに、昭和五十五年から毎年行われてきました市民スポーツ祭は、今年で四十七年目を迎えました。

第四十七回富士宮市民スポーツ祭総合開会式が五月九日市民体育館で開催されました。主催者代表挨拶及び来賓紹介のあと、各競技団体の団旗に囲まれ、ソフトテニス協会所属東小学校六年阿部陽向選手が力強い選手宣誓を行い、各競技団体の大会に向けての意気込みが十分に感じられた総合開会式でした。

また、「優秀区表彰」は、大規模区は淀師区、中規模区は青木区、小規模区は山宮一区、山宮二区、上柚野区。今年度は五月から来年三月まで二十八団体三十種目の大会が行われる予定ですので、多くの市民の参加をお願いいたします。



NPO法人富士宮市スポーツ協会 加盟競技団体会長及び社員名簿

所属団体名	会長名	社員名
野球連盟	渡邊 一 敏	橋 本 啓 慎
ソフトテニス協会	平 野 修	青 島 悠 文
卓球連盟	神 戸 英 治	日 原 文 洋
陸上競技協会	岩 間 久 亜	森 原 潔
バレーボール連盟	望 月 隆 治	桑 原 敏
柔道会	長 橋 正 宏	長 橋 正 宏
剣道連盟	海 野 隆	深 澤 英 史
弓道連盟	塚 本 修	関 口 守
山岳会	小林久二彦	小林久二彦
スケート協会	木ノ内伊吹	佐 野 忠 信
ソフトボール協会	四 本 康 久	石 川 輝 住
スキー協会	浅 井 国 雄	宮 川 裕 美 子
バスケットボール協会	渡 邊 貴 之	渡 邊 貴 之
相撲連盟	佐 野 弘	佐 野 恭 治
バドミントン協会	井 出 裕 雄	渡 邊 高 博
サッカー協会	加 藤 康 雄	鈴 木 伸 一
少林寺拳法協会	石 川 雅 洋	石 川 雅 洋
空手道連盟	今 野 俊 一	望 月 文 策
体操協会	伊 藤 一 芳	望 月 文 策
水泳協会	齊 藤 俊 英	稲 葉 豊
ゲートボール協会	石 川 富	石 川 常 子
武術太極拳連盟	菊 池 昭 碩	中 村 昭 良
テニス協会	松 本 成 章	渡 邊 桂 子
家庭婦人バレーボール連盟	森 好 美	後 藤 大 河
ゴルフ連盟	石 川 武 覚	前 嶋 大 河
ハンドボール協会	細 澤 好 信	後 藤 邦 夫
グラウンド・ゴルフ協会	山 崎 好 信	高 柳 守
インディアカ協会	仲 田 育 美	後 藤 健
合気道連盟	伊 藤 靖 晃	桑 原 健
総合射撃連盟	赤 池 正 久	赤 池 正 久

※社員とは「社団（人の集まり）の構成員」で総会において表決権をもつ会員のこと。

富士宮市スポーツ協会表彰規程に基づく、令和七年度表彰式が一月二十四日に花の湯で行われました。

例年新年会と併せて行われており、功労者は、堀勇氏（相撲連盟）、須藤美規氏（野球連盟）、京角好美氏（サッカー協会）、石田秀明氏（ソフトテニス協会）、広瀬松太郎氏（スキー協会）、西島謙悟氏（スポーツ協会）の六名が、優秀指導者表彰は、板垣あけみ氏（ソフトテニス協会）、大鉢義典氏（スキー協会）、後藤康文氏（バレーボール連盟）の三名が

受賞されました。

優秀選手表彰は、鈴木陽向選手（バドミントン）、佐野湊都選手（バドミントン）、角隼斗選手（相撲）、望月敬大選手（ソフトテニス）、渡邊零選手（ソフトテニス）、望月寧々選手（サッカー）、竹川倅生選手（陸上）、遠藤瑞季選手（陸上）、渡邊煌征選手（陸上）の九名が受賞されました。

奨励賞表彰は、個人三十三名、団体十二団体がそれぞれ賞状を授与されました。

NPO法人富士宮市スポーツ協会 令和七年度 表彰式

第47回 富士宮市民スポーツ祭 種目別開催予定

種 目	部 門	開催予定期日	会 場
総 合 開 会 式		5/9	市民体育館
ソフトテニス	団体（区）	5/31（予備 7/12）	市民テニスコート
	個人（中学生）	9/26（予備 9/27）	市内中学校テニスコート
ソフトボール	中学生女子	5/30（予備 6/6）	富士山スタジアム
	一般（区）	11/8、22（予備 12/6）	外神スポーツ広場
バスケットボール	小学生	8/16	市民体育館
	中学生	5/30・6/6	市民体育館
	高校生・一般	10/25・11/1	市民体育館
家庭婦人バレーボール	家庭婦人	9/27	市内小中学校体育館
バレーボール	小学生	8/2	市民体育館
	中学生	2027/2/6	市民体育館
	社会人	6/14	市民体育館
卓 球	個人（中学生・一般）	5/10	市民体育館
	団体（区）	2027/2/21	
野 球	学童	10/10、11、17、11/1	物見山球場他
	中学生	9/5・6・12 （予備 9/13）	明星山球場他
	高校生（硬式）	10/25、11/1	明星山球場他
	一般（区）	7/26、8/2・9	上井出スポーツ広場 明星山球場 芝川スポーツ広場
総 合 射 撃	一般	10/25	富士国際岩本山総合射撃場
水 泳	小学生・中学生・高校生・一般（100FRのみ区）	9/27	市民プール
相 撲	小学生	5/17	富士宮北高校相撲場
バドミントン	団体（区）・団体（一般）	9/13	市民体育館
体 操	小学生・中学生	9/12	市民体育館
弓 道	成年	8/2	市民体育館 弓道場
	少年	9/12	
剣 道	小学生・中学生・高校生・一般	9/6	市民体育館
柔 道	小学生・中学生・高校生・一般（高校生以上）	11/23	市民体育館 武道場
空 手 道	幼年・小学生・中学生・高校生・一般	11/22	市民体育館
市 民 駅 伝	団体（区）	10/18	山宮スポーツ公園周辺
陸 上 競 技	小学生・中学生・高校生・一般（400Rのみ区）	9/26	富士総合運動公園陸上競技場
サ ッ カ ー	少年	8/22、29、9/5、12	外神スポーツ広場 山宮ふじざくら球技場 市内小中学校 市内高校・市民体育館他
	父親・母親	7/19	
	中学生	5/30、6/6 予備日 6/7	
	高校生	7/ 未定	
	社会人	5/17、31	
	フットサル	2027/1/17	
ゲートボール	一般（区）	10/7	芝川スポーツ広場
スキ ー	小学生・中学生・高校生・一般（区）	2027/2/ 未定	スノーパークイエティ
スケ ー ト	幼児・小学生・中学生・高校生・一般・シニア	2027/2/ 未定	朝霧野外活動センター
ペーパーホッケー	小学生・中学生・一般（高校生以上）	12/13	北山小学校体育館
ゴ ル フ	一般（区）・個人	9/28、29、30	朝霧カントリークラブ
インディアカ	女子・混成・スーパーシニア	6/21	市民体育館
	混成（区）	8/23	市民体育館
グラウンド・ゴルフ	団体（区）	11/14（予備 11/15）	外神スポーツ広場
ハンドボール	小学生・中学生・高校生・一般	8/8	市民体育館
硬式テニス	一般	6/7（予備 6/14）	市民テニスコート
合 気 道	一般	6/14	市民体育館 武道場
登 山	登山種目（ボルダリング）	10/18	富士市天満サニーロック

*申し込み方法は、種目別大会実施要項をご覧ください。要項は、スポーツ振興課（市役所）及び市民体育館にあります。
*（区）は区対抗種目であることを表します。
問い合わせ先…市民スポーツ祭に関すること…市教育委員会教育部スポーツ振興課 TEL22・1190 NPO法人富士宮市スポーツ協会
申し込み方法、競技内容、各種条件等に関すること…各種目別要項に記載された主管団体連絡先 TEL58・7799

各連盟・協会からの報告

陸上競技協会

はじめに

「富士宮市陸上競技協会は、富士宮市における陸上競技界を統轄し、代表する団体として、陸上競技を通じスポーツ文化の普及及び振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育成することを目的とする」の理念のもと、市民スポーツ祭などの市民参加型競技大会の企画運営、参加チーム総数では類をみない多さを誇る富士宮駅伝の主管団体としての運営、そして全国でテレビ放映されている富士山女子駅伝への企画運営協力等の活動を行っています。又、静岡県県のスポーツ水準の向上に寄与している静岡県市町村対抗駅伝競走大会での入賞、オリンピック選手やアジア大会にも複数の選手を送り出した実績があり、世界でも活躍できる選手を多く育成してきた富士宮市が誇るべき競技団体です。

令和7年度の実績ですが、当協会が主管する富士宮駅伝競走大会は衆議院議員解散総選挙の投票日と重なったために中止となりました。

なお、令和8年度の富士宮駅伝は令和9年2月14日(日)に開催いたします。令和8年度も、今まで同様、皆様のご支援ご協力

をよろしくお願いいたします。

第26回静岡県市町村対抗駅伝競走大会

第26回静岡県市町村対抗駅伝競走大会は、令和7年12月6日(土)37チーム(市の部25チーム、町の部12チーム)の参加により、県庁本館前をスタート、草薙陸上競技場をゴールとする12区間、計42・195キロメートルのコースで開催されました。

富士宮チームは、11区赤坂歩哉選手と12区赤坂侑哉選手が、兄弟共に区間4位の素晴らしい走りを見せたほか、各選手が実力通りの力走を見せ、昨年の記録を3分以上短縮して、2時間17分30秒で市の部9位という結果でした。

競技終了後、派遣団解団式が



富士宮市役所で開かれ、岩間久重団長が須藤秀忠市長に団旗を返還し、「全員が力を出し切った。アンカーのトラック勝負は手に汗を握るもので、駅伝の醍醐味を感じさせてもらった」と奮闘した選手たちを称賛しました。

須藤市長は「一生懸命練習した成果が表れた。皆さんの走る姿は勇気と感動を与えてくれた」と選手たちを労いました。

その後、選手一人一人感想や思いを伝え、「来年も選ばれる。まだまだ競技を続ける」「大学最後にしてきな大会に出られてうれしい」「少しでもチームに貢献できて満足。さらにレベルアップした姿を見せたい」「楽しくみんなとたすきをつなぐことができて良かった」などと話しました。

令和8年度の開催予定は、12月5日(土)です。更なる飛躍のため、監督コーチをはじめとし陸上競技協会スタッフが中心となり、6月下旬から大会までの土曜日に、富士宮北高校グラウンドやふじざくら競技場にて練習会を開催しております。精一杯選手の指導・支援をしていきますので、市民の皆様は温かいご声援、ご協力をよろしくお願いいたします。

第46回富士宮市民スポーツ祭 ①第54回富士宮市民 陸上カーニバル

第46回富士宮市民スポーツ祭第54回富士宮市民陸上カーニバルが令和7年9月27日(土)、富士総合運動公園陸上競技場で2年ぶりに開催されました。

小学生、中学生、高校生、一般

の部に約300名の選手が出場し盛大に行われました。記録への挑戦、仲間と競走する楽しさ等を味わいながら、必死で走っている姿が印象的でした。陸上競技人口の底辺拡充を目指している陸上競技協会にとってはありがたいことです。中学生においては自校に陸上競技部がない学校もあるため、他の部活に入りながらも大会に参加し活躍する生徒も少なくありません。また一般の部においては市民ランナーの出場者もあり、歯を食いしばって各選手が自己記録に挑戦している姿に感動を覚えました。

また、この大会の長距離種目は静岡県市町村対抗駅伝競走大会の選手選考も兼ねており、記録への挑戦の他に勝負という側面もある大会でもあります。

2年ぶりの開催でしたが、富士宮市陸上競技協会を中心として、富士市陸上競技協会、富士宮市中体連等の協力を得て無事大会が終了することができ、ご協力に感謝いたします。

この大会が全天候のすばらしい陸上競技場で開催できることに感謝しております。しかしながら市民スポーツ祭を他市の陸上競技場で開催することに残念な気持ちもあります。スポーツの基本は走ることで考えます。市民スポーツを目指している本市にとって、市民が集い体力づくりやレクリエーションに活用できる陸上競技場の設立は市民の大きな願いです。

なお、令和8年度の陸上カーニバルは9月26日(土)にて富士総合運動公園陸上競技場で開催予定です。

開催の折には関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。

第46回富士宮市民スポーツ祭 ②第60回記念市民区対 抗駅伝競走大会

第46回富士宮市民スポーツ祭第60回記念市民区対抗駅伝競走大会が令和7年10月19日(日)山宮スポーツ公園周辺で、6チームが出場して開催されました。12区間7,900メートルのコースで健脚を競い、淀師区が初優勝を飾りました。準優勝は上小泉区で、3位は山宮1区という結果でした。開会式では、前回優勝した上小泉区から代表者2人が選手宣誓しました。

スタートラインに並んだ第1区の走者たちは号砲とともにコースへ駆け出し、年齢区分などに応じた各チームの選手が激走しました。各区の家族や市民が応援に駆け付け、沿道で声援や拍手を送りました。

この大会は、小中学生から一般まで幅広い世代の男女で構成する富士宮市ならではの市民駅伝となりました。しかしながら、最盛期には47チームの参加がありました。年々減少傾向が続く、今回の第60回記念大会は6チームでした。

より参加しやすい大会とするために、区間を6区間に変更し、さらに年齢制限を緩和して、次回第61回大会より実施いたします。

第61回市民区対抗駅伝競走大会は、令和8年10月18日(日)に開催いたします。各区・区民の皆様は積極的な参加をお願いいたします。

卓球連盟

今年度も、富士宮市と包括連携協定を締結している静岡ガス株式会社さんと、富士宮市とホームタウンパートナーシップに関する協定を締結している、県内唯一のTリーグ所属チーム静岡ジェードさんが協力し、12月12日（土）に第4回シズガスカップ静岡ジェードオープン卓球大会を富士宮市民体育館で開催してくれました。年々参加者も増加し、市内、県内だけでなく県外の実業団で活躍するトップ選手も参加してくれるようになり、大会運営に協力している私達も、レベルの高い試合を見ることができ感動しています。是

非、市民の皆様が、大会に参加大会を観戦していただければ、幸いです。

次に、トップ選手の試合を地元で観る機会を紹介させていただきます。日本のトップ選手、アジアのトップ選手が集う卓球リーグTリーグに所属する静岡ジェードのホームゲームが、4年連続富士宮市民体育館で開催することが決定しました。

令和9年1月10日（日）VS T・T彩たま

令和9年1月11日（月）VS 琉球アスティード

日本のトップ選手のプレイを身近に観るチャンスですので、是

非ご覧いただければ、幸いです。最後に、卓球をやってみたい、大会に参加してみたい方にお知らせです。

・教育委員会主催の卓球教室が年3回開催されています。

1期…5月から7月（10回）

2期…9月から11月（10回）

3期…1月から3月（10回）

・大会参加については、当連盟ホームページをご覧ください。

・大会参加については、当連盟ホームページをご覧ください。

・大会参加については、当連盟ホームページをご覧ください。

・大会参加については、当連盟ホームページをご覧ください。

・大会参加については、当連盟ホームページをご覧ください。

ソフトテニス協会

富士宮ソフトテニス協会は、小学生からシニア世代まで幅広く所属しています。「ソフトテニスの町富士宮」の発展を目指し、生涯スポーツであるソフトテニスの普及のため、選手育成や大会運営を行っています。

令和7年度における、当協会所属選手の主な活躍は以下のとおりです。

小学生部門では、今井蒼羽選手、井浪慎選手（dou x）が全日本小学生選手権大会団体戦ベスト8、東日本小学生選抜大会団体戦ベスト8、東海小学生選手権大会団体戦3位に入賞するなど、活躍をしました。

また個人戦では、今井選手、井浪選手、阿部陽向選手（富士宮少年団）、石川朱莉選手（富士宮少年団）が東海大会でベスト8、井浪選手が東日本大会でベスト16に入賞する活躍をしました。

中学生部門では、中体連東大会 団体の部において、FUJIYAMAが男子の部優勝、MASTERRが女子の部2位となり、東海中学校総合体育大会に出場しました。東海大会では、MASTERRが3位に入賞しました。また女子個人の部では、長澤凜果・渡邊雫ペア（MASTERR）が県大会、東

海大会で優勝し、全国大会に出場しました。

高校生部門では、県高校総体団体の部において、富士宮西高が男子の部2位、富士宮北高が女子の部2位となり、東海高校総体に出場しました。

一般・シニア部門では、富士宮市出身の望月敬太選手が所属する明電舎が、全日本実業団選手権大会で準優勝に輝く快挙を達成しました。東海ミックス選手権大会35以上の部で河原崎晶子選手（大成クラブ）、65歳以上の部で石田秀明選手（富士宮市役所）が準優勝しました。東海選手権大会男子35の部で後藤渉選手（星友会）が準優勝、嘉数俊樹・遠藤英貴ペア（星友会）が3位、東海シニア選手権

富士宮柔道会

柔道界ではオリンピック開催後にルールが見直され変更されて行くのが慣例化されており2024年開催後も見直されました。

見直される要因は、柔道本来の醍醐味である一本を取る柔道を目指してのルール変更であります。全日本柔道連盟から通達があり各地区で審判講習会が実施され周知されていきます。

富士宮柔道会の取り組みとして令和7年5月18日、近隣柔道関係者を道場に招いて新ルールの講習会を実施いたしました。ルールの認識不足、誤った解釈から不本意な形で負けを受け入

大会女子80の部で山本敏子選手（宮フレンド）が3位に入賞しました。東日本選手権シニア男子55の部では、宇佐美潤選手（FUJIYAMA）がベスト8に入賞しました。全日本シニア選手権では、男子55の部で宇佐美選手がベスト4、女子80の部で山本選手がベスト8に入賞しています。全日本レディースには、佐野節子選手（宮フレンド）が静岡県代表として出場しました。

今年度も、ソフトテニスを通じて、スポーツのある生活の楽しさを広げられるよう、尽力していきます。



れる人が無くなるようにしっかりとルールを把握した上で正々堂々と勝負をした結果勝ち負けを受け入れ試合で得た経験を今後の成長に繋げていただけたなら講習会を実施した意味があります。子供の成長期に納得の行かない判定に疑問を持ち柔道離れに繋がり柔道人口減少を招く一因となりにかねないと考えております。

私たちが指導者は目まぐるしく且つ複雑に変わるルールに対応するべく講習会等を通して日々新しい情報を入手し共有して柔道会員又は柔道関係者に発信し続けて参ります。

富士宮剣道連盟

剣道の段位は履歴書にも書ける立派な資格であり、少年剣士が順調に進めば中学一年生で初段を取得できます。段位審査には試合形式の実技と日本剣道形及び学科試験が課されます。そして、その学科試験では必ず「剣道の理念」を問われます。

剣道の理念は「剣の理法の修練による人間形成の道である」と謳われています。この「剣道の理念」の正しい理解と定着を図るため「竹刀の本位」「礼法」「生涯剣道」の三本の柱からなる「剣道指導の心構え」が掲げられ、単に技術や形だけでなく、自分の進歩・上達のために稽古や試合をしてくれる相手への尊

敬や感謝の気持ち、ともに学び、健康・安全に留意しつつ生涯にわたる人間形成の道を見出す指導と実践を継続することが示されています。

富士宮剣道連盟は『剣道指導の心構え』のもと、礼儀の本質を理解し、自己の修練と剣道普及を目指し、会長に海野隆、副会長に石川裕一、岩瀬紀彦と室伏幹夫、理事長に深澤英史、事務局長に足立和俊の布陣で活動しています。

一方、富士宮剣道連盟の一般選手が日頃の修行の成果を発揮し、ねんりんピックの国さいたま大会に佐野雅洋、全国教職員大会に須藤宏一郎が県代表に

弓道連盟

弓道を始めてみませんか

弓道は、激しい運動ではありませんが、全身の筋力を使う全身運動であり、且つ礼儀作法を重んずる武道です。また、年齢に関係なく老若男女を問わず、基礎を習得すれば、誰でも出来るスポーツです。

しかし、一般のスポーツと比べ、動的な激しい運動ではないので、簡単にできると思い侮ると、習得が難しくなります。じつと心を澄まし、狙い定めた矢が、正鵠(的の中心)に吸い込まれる時、我々の心の中に、かつて古代人が獲物を射止めた時の喜びが再現します。弓は原始

への回顧でもあるのです。

こうした武道の心と、明るく楽しい近代的なスポーツ性が融合しているのが、現在の弓道だと思います。

弓道を始めたい方は、次の二つの方法が有ります。

一、富士宮市スポーツ振興課主催の弓道教室に入校して弓道の基本と楽しさを学ぶ方法。

五月からと、十月からの年二回開催されます。いずれも各十五回です。

必要な用具は、全て貸与出来ます。用意する物は、体操着、白足袋です。年二回、四月と八月の富士宮市の広報で案内

選出され、昇段審査では遠藤大史が七段に合格しました。また、近年の剣道人口減少対策の一つとして始められた女性稽古会は年3回開催され、延べ64名が参加しました。また、8年度からは富士宮剣道教室をリニューアルし再開します。

なお、通常の剣道稽古は、一般会員を中心に富士宮市民体育館武道場で毎週、火曜日、木曜日(2回/月程度)、土曜日の午後8時から9時まで行い、同じ武道場で少年・少女の剣士育成のために毎週、火曜日(午後6時30分)と土曜日(午後6時)より午後8時まで指導にあたっています。

この他にも市内には剣道連盟傘下の少年・少女の剣道指導を行っている団体が、芝川剣道ス

が出来ます。教室の受講対象者を、初心者に限定していますので、安心して応募して下さい。

二、富士宮市には、静岡県弓道連盟に所属している三つの弓道支部があります。

支部に入会して、弓道を始める方法です。

①琴平支部 富士宮市体育館内、会員数三十名、連絡先支部長 戸塚浩行

②富士宮支部 浅間神社内、会員数九名、連絡先支部長 遠藤英和

③富士宮体育館支部 富士宮市体育館内、会員数十一名、連絡先支部長 前田研治

体操協会

体操協会の現況

毎週金曜日、夜7・00より世代交流体操教室が体育館Aコートにて開催されております。

本年度であつという間の35年目です。当初は、中、高校にも「体操部」があり、鉄棒、鞍馬、跳び箱

マット運動が競われ、中学生の高度な技にチャレンジする姿勢に感動したものでした。失われた平成の時代になりますと、体操は危険なスポーツとレッテル

を張られ、中学の部活廃止、それに伴い、指導者も少なくなり、

人口は激変し、クラブチームでの試合となり、やりたくても観

ポーツ少年団、文武館、栄浩会と習武館の4団体があり、富士宮少年剣道大会と芝川少年剣道大会が年に1回行われています。しかし、ここ数年の小学生、中学生剣士の減少は大きな問題であり、より一層少年少女への剣道普及活動に努めていく所存です。



令和8年1月3日 浅間大社にて

「令和8年度の主な事業計画」

4月29日(祝)	剣道伝達講習会、第15回富士宮選手権大会	11月3日(祝)	第57回富士宮少年剣道大会
5月17日(日)	第3回富士宮剣道連盟錬成会(小中学生の錬成試合)	11月29日(日)	第48回中学新人剣道大会
5月31日(日)	剣道初心者講習会	1月2日(土)	芝川剣道スポーツ少年団初稽古会
7月5日(日)	中体連剣道大会	1月3日(日)	富士宮剣道連盟初稽古会、浅間大社参拝
9月6日(日)	第72回富士宮市民剣道大会	3月21日(日)	富士宮剣道連盟少年部送別剣道大会
9月20日(日)	東部地区剣道大会		*女性稽古会(8/2・12/6・3/28)
10月11日(日)	第54回芝川少年剣道大会		*剣道級位審査会(6/21・10/18・2/14)
			*富士宮剣道教室は5月から月に2回程度計画し各校・団体等に案内します。

戦するしかなく、残念な方向性に進んでしまいました。しかしながら、富士宮体操協会は、「誰にでも出来る基本の体操」を目指し、学校の体育の中でも目立つような「美しさ」「切れのある体操」、そして仲間から「すごいね」と憧れる体操を目指し「体操を、無理のない、ケガのない体操を楽しみ、ご父兄共々、笑顔の中、我が子の成長を見守る体操教室です。しかし、一番の課題は、指導者の高齢化、若手の指導者不足、これからあと何年継続できるのか?不安でなりません。

バスケットボール協会

創部三十五年以上のクラブチームを表彰

今年度、本協会ではクラブチーム二チームを表彰しました。男子のクラブチーム『スポップス』は、一九八八年（昭和六十二年）創部から三十七年間、女子のクラブチーム『桜クラブ』は、一九八二年（昭和五十七年）創部から四十三年間続いているチームです。

本協会に登録したチームも、平成の時代には、男女合わせて最大三十五チームにも達した時もありましたが、コロナ禍において練習ができなくなり、解散したチームも八チームほどありました。コロナ禍が収まり、大会への参加チームも戻ってきましたが、近年のクラブチームの

課題としては、職場の変更や移動等で、富士宮市在住、富士宮市在勤の参加条件から外れ、チームの部員数が減少していることがありました。また、チームにおける若手メンバーの補強や人間関係の変化を理由に、部員が離脱することもあり、短い年数でチームが分裂したり、解散したりすることもありました。

そこで、これらの課題を解決するために、本協会主催大会への参加条件を見直し、これまでの参加条件に加えて、富士宮市のミニバスチーム、富士宮市の中学校及び高校等において、プレイ経験がある者の参加も認めることにしました。このように許容範囲を広げることで新たなチームの発足や長期継続が望めることを期待しています。また、チームが長期継続できるためには、勝利だけでなく、チーム内でベテランと若手が共に楽しくプレイできることを目標にするというチームの方針を部員全員で共有することが大切と考えます。

今年度表彰した二チームは、どちらも男女共に六十歳を超えるメンバーが、今なお現役でゲームに出場しています。若手をメンバーに加えながらもベテランも楽しく一緒にベンチを沸かせています。この姿こそがクラブチームが目指すべき姿だと思います。この『スポップス』と『桜クラブ』の二チームが、富士宮のバスケットボールのクラブチームの目標になっていくことを今後も期待しています。

歓声と拍手が沸きあがり大いに盛り上がりました。

次に富士宮市すもう倶楽部の大会実績について申し上げます。何と言っても特筆すべきは昨年十一月三十日に両国国技館で行われた第三十八回全日本小学生相撲優勝大会に於いて角単斗くんが準々決勝まで進み全国ベスト8でした。また今年の二月七日にトヨタアリーナ東京で行われた第十六回白鵬杯に於いて団体戦で富士宮市すもう倶楽部が準々決勝敗退でしたがこちらも全国ベスト8でした。全国大会でも十分戦える実績を残せました。これからの活躍にも期待したいと思います。

に励んでいます。

また富士宮市教育委員会主催の令和七年度富士宮市こども相撲教室も二十二名が参加し十回開催致しました。相撲の基礎練習（四股、すり足）で足腰を強化し実際に相手と相撲を取り相撲の魅力や楽しさを体験してもらいました。

当連盟が主催する大会として富士宮市幼児すもう大会を開催しました。幼児すもう大会は今回で第十一回の開催となり三十四名の参加で行われました。ちびっ子力士の取り組みに場内は

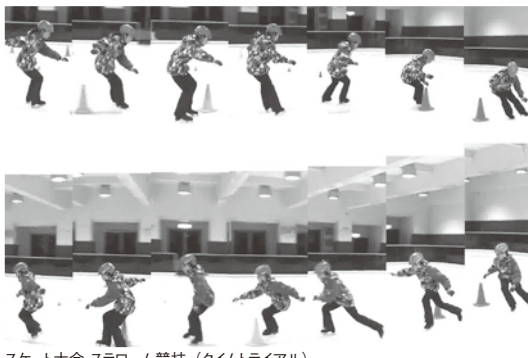
スケート協会

富士宮市スケート協会は、アイスとインライン、ふたつのスケートを軸に、地域のスポーツ環境を支え続けてきた団体です。歴史は古く、昭和33年の「富士宮スケートクラブ」発足にさかのぼるが、その活動は地域に根付き、更に進化し続けている。

冬季（11月～3月）は、朝霧野外活動センターの室内アイススケートリンクを舞台にスケート教室を開催。幼児から大人まで、日本スケート連盟公認の指導員が基礎からしっかり指導する。未経験者はもちろん、「もう少し上手になりたい」という人も大歓迎。レベルテストで自分の成長を確認しながら、木曜の夜に仲間と滑る時間は、続けるほかにクセになる。

インラインスケート部門では、

北山小学校体育館や白糸小学校体育館を拠点に、月2回ほどの練習会を実施。屋外リンクがなくとも滑れる、街なかのスケート文化だ。さらに注目したいのが、子どもたちと一緒に育ててきたニュースポーツ「ペーパーホッケー」。インラインスケートを履いてチームで戦うこの競技は、平成28年に市民スポーツ祭の公式種目に採用され、大人も子どもも混じって楽しめる富士宮らしい新定番になりつつある。スポーツ離れが叫ばれる今だからこそ、協会は動き続ける。「滑る喜びを、一人でも多くの人へ」その思いを胸に、体験・見学はいつでも受け付けています。まずは気軽に、リンクサイドへ。



スケート大会 スラローム競技（タイムトライアル）



インラインペーパーホッケー大会（小学生女子 3on3）

■富士宮市スケート協会の情報発信
<https://www.facebook.com/fujinomiya.skate>

■アイススケート教室 場所：静岡県立朝霧野外活動センターの室内リンク
日時：11月から3月の期間、毎週木曜日 18:40～20:15
<https://www.fujinomiya-taikyo.com/category/skating/>

■インラインスケート教室 場所：北山小学校体育館または白糸小学校体育館 日時：通年、土曜日 18:00～20:00 または日曜日 9:00～12:00
<https://inlineskatef.wixsite.com/fujinomiya>



バレーボール連盟

令和七年度も小学、中学、高校、社会人、四部門の選手達は、多くの大会で実力を発揮し良い成績を残してくれた。感謝したい。

小学生部門では、第四十五回全日本小学生バレーボール県大会に富士根南が混合の部で出場して善戦した。又、四年生以下で実施される第三十七回ソフトバレーボール県大会にも富士根南が混合の部で出場し健闘した。更に、第五十四回県小学生バレーボール大会兼スポーツ少年団交流大会にも富士根南が混合の部で出場し県八位と善戦した。市内大会が年六回開催されるが、富士根南のチャレンジチームが市民スポーツ祭等、五回優勝する活

躍もあった。

その成果や指導歴十二年の実績で市スポーツ少年団より富士根南の望月富士夫氏が「優秀指導者賞」を受賞し明るく、元気に楽しむバレーの指導を目指している。

中学生部門では、毎年五月に開催の市長杯大会に全国の男子十一、女子四十一チームが参加し熱戦が繰り広げられた。男子は掛川スベランツァ、女子は八王子実践中が優勝し、多くの中学生が躍動した。東部選手権で優勝した富士宮四中男子と同じ女子は八位で県大会に出場して健闘した。市内中体連大会では男女共富士宮四中が優勝、女子の富士根北中も準優勝で県大会に出場

するも敗退した。

県新人バレーボール大会には男子の富士宮四中、女子の富士宮四中と富士根南中が出場したが予選で敗退した。市民スポーツ祭大会では男子が富士宮四中が準優勝、女子は富士宮二中が優勝、大富士中が準優勝して伝統チームの復活があった。

高校生の部門では、高校総体東部大会で男子は富士宮北高が初優勝、女子では富士宮西高が三位となり県大会に出場、富士宮北高が五位と善戦した。第四十三回県高校バレーボール選手権東部大会で二年連続優勝の富士宮北高は全日本県選手権大会では五位と善戦し東部勢の力を発揮した。高校新人戦東部予選で優勝した富士宮北高、六位の富士宮西高は県大会に出場し、北高は五位と健闘した。更に第七十一回東部春季バレーボール

選手権大会で富士宮北高は二年連続の優勝を果たした。北高の活躍は明るい望月陽介監督の指導が選手たちを躍動させ、現在は三十一人もの選手が楽しんでいる。

社会人の部門は、一般のバレーボール好きの集まりが多く、体育館確保や練習時間調整などの制約がある中、若い方、中高年の方が和気あいあいのムードで楽しんでいる。市民スポーツ祭大会には十三チーム、連盟会長杯大会には十一チームと男女混合メンバーが参加して戦っている。市民スポーツ祭の優勝チームはMEチーム、TKGC、連盟会長杯の優勝チームはチームカラス、BLOW、ユーマッスルが受賞した。今年度は選挙で大会が一つ中止となったが、年三回の大会を楽しんでいく。

バドミントン協会

富士宮市バドミントン協会の令和七年度の登録会員数は引き続き増加傾向にあり、主催大会では毎回募集人数を上回る申し込みが寄せられ、参加をお断りする状況が続いています。バドミントンは社会人の健康づくりや趣味として長く続けられる生涯スポーツとして定着し、市内でもその人気が高まっています。

本年度は、夫婦都市である近江八幡市との交流事業を実施し、近江八幡市バドミントン協会に所属する小学生約50名が富士宮市を訪れ、観光と交流大会を

2日間にわたり行いました。交流大会には須藤市長や諏訪部議員も来場され、挨拶と見学を通じて交流を盛り上げていただき、たいへん意義深い事業となりました。

また、トップアスリート等派遣事業として、世界選手権大会での優勝経験を持つ與猶くるみ氏と、筑波大学バドミントン部主将として指導実績も豊富な大石悠生氏を講師に迎え、講習会を開催しました。小学生20名、中学生40名が参加し、基礎技術に加えてウォームアップ、負荷

トレーニング、ステップ、ラケットワークなど多岐にわたる内容が実施され、参加した指導者にとっても大変参考となる充実した講習会となりました。

さらに、令和八年度のトップアスリート等派遣事業では、2024年パリオリンピック女子シングルス日本代表として出場した大堀彩選手を講師に迎える予定です。3年後に控える静岡全中バドミントン大会に向け、地元からの出場選手を育成できるように、今後も継続して支援を行っていきます。

ハンドボール協会

富士・富士宮地域の中学生(女子)で構成される富士ハンドボールクラブが3月に春の全国中学生選手権大会に出場しました。競技人口が少ない中、色々な学校から集まった子供たちが全国の舞台で活躍する姿は、部活動とは違った魅力にあふれていると感じました。今後も子供たちの活動を後押しできるようにハンドボール教室などを積極的に

行っていきたいと考えています。



活躍した富士宮北高 男子バレー部

また、普及活動の一環として、令和9年3月、2年ぶりに日本ハンドボールリーグを富士宮市民体育館で開催します。多くの方に観戦いただき、ハンドボールの魅力を感じていただきたいと思います。

ハンドボール教室
対象 小・中学生
日時 毎週土曜日ほか
午後7時から午後9時まで
場所 富士市立体育館ほか
(富士ハンドボールクラブと合同で行います。)

スキー協会

令和7年度に実施されたスキー協会の活動をお伝えします。まず、オフシーズンにあたる夏から秋にかけて、次のシーズン開催予定の行事募集要項を作成し、11月9日に会員と過去行事にご参加いただきました皆様向け案内の封筒詰め作業を協会理事で行い、後日発送しました。雪上での活動開始は、12月14日に長野県野沢温泉スキー場での協会初滑りよりスタートしました。殆どの参加者が、協会理事と会員者の行事ですが、シーズンスタートには、程良い内容の行事です。

年が明け、1月25日と2月1

日に、スノーパークイエティで、ちびっ子スキー教室、大人のスキー教室を開催しました。

例年2回のうちどちらかに、大雪に当たる事が多い行事なのですが、今回は、両日共晴天に恵まれ、滑り易い環境の中で開催ができました。

2月8日には、長野県長和町のブランシユスノーリゾートで、レッスンのフリースキーツアを開催しました。晴天率の高いスキー場なのですが、今回は大雪に見舞われ、行事内で実施したバジテストも、かなりシビアなコンディションでの滑走となり、受検者の方々も大変苦

勞をしていました。2月23日には、スノーパークイエティで、市民スポーツ祭スキー大会を開催しました。時折ガスのかかる視界不良のコンディションではありましたが、全員無事滑走を終える事が出来、カテゴリー別の表彰と景品を手には、参加者の皆様にご満足いただけた大会になったのではと感じています。

4月11日には、シーズンの締めくくりとなる、納会を行い、各行事の結果報告及び会計報告を行い令和7年度の活動を無事終了しました。私達スキー協会では、ここにあげた行事以外にも、スキー普及発展を目的とし、その活動を通じ、人々の繋がりやの輪を広げていきたいと考えています。

ゴルフ協会

富士宮市ゴルフ連盟の主な事業として、富士宮市民スポーツ祭・区対抗ゴルフ大会や富士宮市アマチュアゴルフ大会の企画及び運営、またジュニアゴルフの育成を目的としたジュニアゴルフ教室を開催しております。

昨年度の区対抗ゴルフ大会は、二日間で四百四十三名、計五十区という非常に多くの市民の皆様にご参加いただきました。回を重ねるごとに「区の親睦」として、大会が地域に定着していることを実感しております。

また、市民アマチュアゴルフ大会においても、老若男女問わず多くの方にエントリーをいただき、活気ある競技となりました。ジュニアゴルフ教室については、ゴルフ人口の底辺拡大と健全な育成を目的としております。昨年度も保護者の皆様の多大なるご協力とご理解をいただき、プロの指導のもとで子供たちが楽しみながら技術を学ぶ場を提供できました。

また、例年参加しております「静岡県都市対抗ゴルフ選手権」も昨年は百十一回を数え、当連盟からも精鋭六名の選手が代表として挑みました。今年も協会一丸となって応援し、上位入賞を目指してまいります。こうした活動が続けられるのも、ひとえに市民大会等に参加し、後押しをしてくださる市民皆様のお陰と感謝しております。

富士宮市ゴルフ連盟としては、今後もジュニアゴルフやアマチュアゴルフの育成を含め、アマチュアゴルフの底辺を広げるための普及活動に尽力してまいります。

水泳協会

「水泳教室が始まりました」

令和8年度の第一期富士宮スポーツ教室が始まりました。水泳協会では、主に「水中ウォーキング」や「水泳初級・中級・上級」など7つの教室を開いています。どの教室も盛況で市民の皆さんの健康意識の高さうかがわれます。参加者の年代を見ますと60代から80代が多いように思います。また、女性が多く男性はどの教室も5人もいません。参加者からの声を聞いてみたところ、「私はもう20年以上もこの教室に通っています。コーチが上手に教えてくれるのでとても楽しく通っています。」

（80代女性）、「初めて参加しました。少し不安だったけど、一人でやるよりみんなとやると続くなと思って参加しました。」（70代女性）、「ちよつと病気をしたので、健康でいられるようにリハビリも兼ねて通っています。」（80代男性）、「死ぬまでに泳げるようになりたいくて初心者コースに入りました。」（70代男性）など様々です。水泳教室に入る動機は人それぞれであっても、みんな楽しく参加していて、時々笑い声も聞こえてきます。幾つになっても挑戦しようとする人の瞳は輝いています。

富士宮サッカー協会

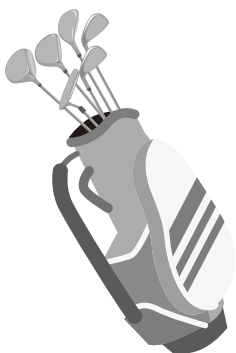
富士宮サッカー協会は、昭和45年に「富士宮サッカー連盟」として発足し、昭和52年には連盟を発展的に改組して現在の「富士宮サッカー協会」となりました。以来、地域のサッカー振興を担いながら活動を続けています。

協会では、シニア・社会人・高校生・中学生・小学生・キッズ（6歳以下）・女子といったカテゴリーに分かれ、幅広い年代の選手が日々サッカーに取り組んでいます。女子については、中学生以下の選手が男子チームに所属して活動するケースもあります。

令和7年度には、富士宮の少年団で育った選手が高校生となり全国大会へ出場し、見事な成績を収めました。この活躍が評価され、スポーツ協会より優秀選手表彰を受けています。

一方で、少年・中学年代では少子化の影響や、チームスポーツに対する意識の変化もあり、登録者数は減少傾向にあります。それでも、ふじざくら球技場や外神グラウンドといった恵まれた環境のもと、子どもたちはサッカーを楽しみながら成長しています。

今後も、より多くの皆さまにサッカーの魅力に触れていただけるよう、普及活動を一層充実させてまいります。



安土城築城450年記念
第72回近江八幡駅伝競走大会

今年是一般・高校の部のスタート場所が変更され、高校の部はあづちマリナート前をスタートに34・0キロメートル、中学の部は同市立運動公園をスタートに22・0キロメートルを疾走しました。



中学男子に出場した富士根南中学校は1時間18分18秒で7チーム中1位、中学女子に出場した富士宮第一中学校が1時間33分50秒で4チーム中1位、高校の部に出場した富士宮北高校は2時間01分04秒で体調不良者が数名出たためにオープン参加として出場しました。

近江八幡市と夫婦都市提携を結ぶ富士宮市では毎年、同大会に派遣団を送り、友好親善の輪を広げています。

第76回富士宮駅伝競走大会は令和8年2月8日(日)富士宮市役所東側を発着点に開催される予定でしたが、衆議院議員解散総選挙の投開票と日程が重り関係各所と開催に向けて協議を重ねましたが、誠に不本意ながら中止となりました。

（全日本大学女子選抜駅伝）競走大会

結果になりましたが、次回大会に向けより一層尽力してまいります。

最後になりますが、令和8年度は、令和9年2月14日(日)に第77回大会として開催されます。関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。

第13回富士山女子駅伝が、令和7年12月30日（月）、富士宮市の富士山本宮浅間大社前から富士総合運動公園陸上競技場までの7区間、43・4キロメートルで行われ、城西大が2時間22分36秒記録で初優勝を飾りました。10月の全日本大学女子駅伝と合わせ2冠となりました。東北福祉大が準優勝し、大東文化大が3位でした。県学生選抜は23位でした。

白糸ノ滝が「全国観光百選・滝の部」の一つに選ばれたことを機に、コロナ禍等での中止を除き1951年から毎年開催されている同大会は、市民駅伝の草分け的存在として、市内はもちろん市外からも多くのチームが参加します。近年は箱根駅伝に出場した大学や選手も出場し6区間、標高差370メートル全長32・7キロメートルの厳しいコースに挑んでいます。

今回は一般149チーム、高校25チーム、中学11チーム、女子19チーム、の計204チームが参加予定でした。

今回はこのような中止という

賛助会員の皆様へ

令和七年度に会員になられた方は、法人、個人併せて百十七会員、賛助会費総額百七十二万円でした。ご協力いただきました賛助会費はスポーツ協会、会計歳入の部へ計上させていただきます、以下のような目的で支出させていただきます。

支出の主なものは、加盟三十団体への助成金として二百四十

万二千円、スポーツ少年団育成のための助成として四十五万円国体出場選手等激励金として十三万円を充当させていただきました。

令和七年度事業も皆様の多大なるご理解とご協力により、無事に終了することができ、厚くお礼を申し上げます。

今後とも、スポーツの振興・普及と競技力の向上及び加盟団体の更なる発展のため努力してまいりますので、ご協力賜りますようお願い致します

した。

令和七年度事業も皆様の多大なるご理解とご協力により、無事に終了することができ、厚くお礼を申し上げます。

今後とも、スポーツの振興・普及と競技力の向上及び加盟団体の更なる発展のため努力してまいりますので、ご協力賜りますようお願い致します。

NPO法人として二十一年目を迎えました。昨年度に引き続き体育施設等の管理運営について、地域ステッパアップサービスと共同で事業も行います。

ト事業の開催、加盟団
体及びスポーツ少年団活
動の支援、大学対抗女子
駅伝、市町対抗駅伝大会
の協力、スポ協だよりの
発行、しずおかスポーツ
フェスティバル開催への

五月十二日に協会加盟各競技団体社員出席のもとに、総会が開催され、令和七年度事業報告及び決算、令和八年度事業計画及び予算が審議され承認されました。

本年度事業としては、第四十七回市民スポーツ祭の開催、トップアスリ協力、富士宮駅伝の協力、功労者表彰、体育施設運営、自動車販売管理運営等々の事業を行います。

左記役員を中心に市民のスポーツの振興・普及および市民の健康づくりに向け努力致しますので、ご支援・ご協力をお願いします。

役職名	氏 名
会 長	渡 邊 徳 一
副 会 長	平 野 雅 一
副 会 長	佐 渡 邊 弘 敏
副 会 長	井 出 暢 一
理 事 長	塩 澤 成 和
副 理 事 長	細 澤 寛
理 事	諏 訪 幸 宏
理 事	小 野 里 朋 之
理 事	石 川 洋 子
理 事	佐 藤 奈 美
理 事	田 川 緒 美
理 事	塩 田 洋 子
理 事	朝 日 将 利
監 事	村 松 宏 一
監 事	野 澤 文 人